

平成15年度 公共事業再評価調書（地すべり防止事業）

（事業着手後10年経過、着手後5年間未着手、**再評価後5年経過**、社会情勢の急激な変化）

評価確定日	平成15年 月 日
所管部課名	農林水産部 森林整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																																							
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]																																																							
[路線名] — [箇所名] 狼沢 [所在地] 雄勝郡 東成瀬村椿川	[事業の目的] 平成3年に地すべりによる亀裂が発見された。このため、平成4年度から斜面長約1km、幅約500m、面積約50haにおよぶ活発な地すべり地において、下流域の2集落、国道等を保全するため、防止対策工事を実施するものである。  [総合計画上の位置付け] 第1章 安全・安心に楽しく暮らす秋田 3 快適で安全な生活を支える環境づくり (2) 災害に強い県土づくり	[事業の経緯] H4～H14までの実績 集水井15基、隧道工756m ボーリング暗渠工12,060m 排土工20万㎡他、調査工一式 H15計画 集水井工2基、ボーリング暗渠他  [進捗状況] ○H15未投資済事業費 工事費・調査費 2,012,419千円 (44.7%)  [長期継続の理由] 地すべり防止工事の効果判定調査をしながらの対策であるため、事業期間を要している。	[社会経済情勢の変化] ○事業採択時から再々評価実施までの周辺環境の変化 特に変化はない。  [地元の意向] 依然として滑動は続いていることから、下流集落及び国道342号線を保全するため引き続き工事の継続が望んでいる。  [環境対策] 工事に当たっては、排土工・盛土工法面に緑化工や植栽工を施工するなど、現場及び周辺の自然環境、景観等の保全に十分配慮している。	[整備効果] H14年度まで、集水井15基とトンネル暗渠工756m及び集水ボーリングを施工した結果、地すべりの要因である地下水位は平均で5m・最大で13m低下した。 また、安全率が上昇した。 0.916→0.964 (H10年) (H14年)  [費用の変化] 特に変化はない。  [費用対効果] 事業採択時点及び再評価の平成10年時では実施していない。 現在の基準で、算定した場合4.51となる。	[事業進捗の見込み] 計画どおり事業を実施する予定である。  3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点  [コスト縮減の可能性] 排土工を検討し、コスト縮減を図る。  [代替案立案の可能性] なし																																																							
[事業の内容] ○地すべり防止事業 ○指定区域面積 197.34ha ○保全対象 人家120戸、農耕地8ha、国道・村道・公共施設 他		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H10再評価時</th> <th>H15再々評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査</td> <td>一式</td> <td>一式</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対策工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隧道工</td> <td>761m</td> <td>756m</td> <td>-5</td> <td>実施設計による</td> </tr> <tr> <td>集水井工</td> <td>6基</td> <td>35基</td> <td>29</td> <td>地下水調査に基づき</td> </tr> <tr> <td>ボーリング暗渠</td> <td>8,722m</td> <td>43,150m</td> <td>34,428</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>アンカー工</td> <td>200孔</td> <td>200孔</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭打工</td> <td>80本</td> <td>136本</td> <td>56</td> <td>機構解析による</td> </tr> <tr> <td>排土工</td> <td>500,000㎡</td> <td>470,000㎡</td> <td>-30,000</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>4,502</td> <td>4,502</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H4～H25</td> <td>H4～H25</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	H10再評価時	H15再々評価時	増減	理由等	調査	一式	一式	—		対策工事					隧道工	761m	756m	-5	実施設計による	集水井工	6基	35基	29	地下水調査に基づき	ボーリング暗渠	8,722m	43,150m	34,428	//	アンカー工	200孔	200孔	—		杭打工	80本	136本	56	機構解析による	排土工	500,000㎡	470,000㎡	-30,000	//	事業費(百万円)	4,502	4,502	—		事業期間	H4～H25	H4～H25	—		
項目	H10再評価時	H15再々評価時	増減	理由等																																																								
調査	一式	一式	—																																																									
対策工事																																																												
隧道工	761m	756m	-5	実施設計による																																																								
集水井工	6基	35基	29	地下水調査に基づき																																																								
ボーリング暗渠	8,722m	43,150m	34,428	//																																																								
アンカー工	200孔	200孔	—																																																									
杭打工	80本	136本	56	機構解析による																																																								
排土工	500,000㎡	470,000㎡	-30,000	//																																																								
事業費(百万円)	4,502	4,502	—																																																									
事業期間	H4～H25	H4～H25	—																																																									
再評価の結果		対応方針（案）及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																																																								
継続中止		[対応方針（案）] 当初計画どおり、平成25年度事業完了を図る。  [理由] 本事業の実施により、地すべり指定地全体の安定化が図れつつあるが、目標安全率には達していないため、当該事業を継続するものである。																																																										